



◆年頭挨拶◇

副病院長

船津 俊宏

(兼)手術センター長
心臓・血管センター長
患者サポートセンター長
臨床工学・技術センター長
国際センター長

新年あけましておめでとうございます

つい先日新年ご挨拶の文章を書いたように思いますが、早くも1年経つのかと驚くばかりです。それだけ充実した、時間の経過を忘れる1年であったかと解釈するようにしております。昨年を振り返りますと、何はさておき積年の願いでありました、経カテーテル大動脈弁留置術（いわゆるTAVI治療）を、一昨年完成したハイブリッド手術室を使って1月に開始できたことが最大のニュースでした。開始当初であるため慎重に患者さんを選定しながら、1年間で13例のTAVI治療をおこなうに至りました。これまで患者さんには、遠方の他病院まで足を運

んで受けていただいていたTAVI治療を、ようやく当院で受けていただくことができるようになりました。こうしたTAVI治療も含め、今年もますます地域医療に貢献できるりんくう総合医療センターであるよう努めてまいります。特に昨年から拝命した手術センター長として、外科治療を大いに発展させるよう一層取り組んでまいりたいと思いますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

人生を変えた1冊

人生を変えたというほど、大袈裟な表現が当てはまる一冊は、題名を言えるほどのものはありません。ですが、医師という職業を漠然と志したきっかけを思い起こすと、思い当たる1冊の本があります。まだ小学生低学年だったでしょうか、当時我が家ではたまの夕食の帰路に必ず本屋に立ち寄り、兄弟1冊ずつ本を買ってもらうのが習慣でした。もっぱら江戸川乱歩など推理ものを好んでいた私ですが、ある日科学系の図鑑のような本があり、その一節に身体を蝕むがんのことが触れられていました。体内に巣食う別の生命体のような感じがして、非常に興味を持ちそこから医学への関心が生じたように思います。



◆年頭挨拶◇

感染症センター長

倭 正也

(兼)診療局次長 内科統括
総合内科・感染症内科主任部長
臨床研修センター長
院内感染対策室長
産業医

新年あけましておめでとうございます

日頃より、当院の医療活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。地域の基幹病院の総合内科・感染症内科の主任部長および幹部職員の1人として、皆さまの健康と安全を守ることの大切さを、改めて深く感じております。昨年は、インフルエンザやCOVID-19の流行、耐性菌対策、高齢化に伴う慢性疾患の増加など、多くの課題に向き合った一年でした。昨年設立されました地域医療連携推進法人のもと、本年は地域医療機関との連携をこれまで以上に深めながら、「誰もが安心して相談・受診できる医療」「地域全体で支え合う医療」

を大切にし、質の高い診療と迅速な感染症対応の両輪をさらに強化し、より一層の努力を続けてまいります所存です。皆さまにとりまして、この一年が健康で穏やか、そして実り多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

人生を変えた1冊

『災害医療に役立つ医療人になるために』という書籍に出会って以来、特定感染症指定医療機関・災害拠点病院・DMAT指定医療機関である当院で働くことを目標に歩んでまいりました。現在こうして当院で勤務できていることに深く感謝するとともに、COVID-19対応で得た経験を次なる新興感染症への備えに生かしていく所存です。今後も研鑽を続け、自然災害発生時にも迅速かつ柔軟に対応できる力をさらに高め、微力ながら社会貢献をしたいと考えています。



◆年頭挨拶◇

大阪府泉州救命救急センター長

中尾 彰太

(兼)Acute care surgeryセンター長
重症外傷センター長

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年を振り返りますと、泉州地域では外国人観光客の増加により救急搬送数が増えただけでなく、言語・文化の違いを背景とした多様な医療ニーズが顕著となりました。さらに大阪・関西万博の開催により、急病だけでなく特殊災害や多数傷病者対応への備えが求められるなど、救急医療の需要は量的・質的にも大きく変化いたしました。

当センターでは、空港島を抱える地域特性を踏まえ、テロを含む特殊災害に対応するためのマニュアルを整備し、多機関と連携してその運用を開始しました。この経験は、平時の救急対

応においても、その向上に資する取り組みであると自負しています。

しかし、どのような変化がおきても、地域住民の命を守る“最後の砦”であるという当センターの使命はこれからも変わりません。本年も、泉州地域の安心と安全を支えるため、職員一同、質の高い救急医療を提供できるよう全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

人生を変えた1冊

手塚治虫の名作『ブッダ』は、私の中でとても印象深く心に残っております。中学生の頃に初めて読み、物語そのものが“人生とは何か”を静かに問いかけてくるようで、強い衝撃を受けました。喜びや苦しみを抱えつつ歩む主人公の姿に触れ、自分はどうか生きるべきかを初めて真剣に考えさせられるきっかけとなりました。今も折に触れて思い返す、私の大切な原点となった一冊です。



◆年頭挨拶◇

法人運営本部長

松藤 孝英

(兼)法人運営課長

新年あけましておめでとうございます

りんくう総合医療センターでは、地方独立行政法人となった平成23年度から5か年度ごとに病院の運営方針などを定めた中期計画を定めています。中期計画とは、当院の設置者である泉佐野市から示された目標を達成するために定める計画のことで、その内容は救急医療や高度医療などの診療の方針のほか、患者・住民サービス、地域の医療機関との連携、職員の採用や育成、財政の改善など、多岐に渡っています。現在当院では令和8年度からの5か年を対象とする第4期中期計画を策定中で、策定した計画案は3月開催の定例市議会にお諮りし、承認され

ますと向こう5年間の当院の指針が示されることになります。地域の皆さまに良質な医療サービスを継続的、安定的に提供出来るよう、計画に基づき取り組んでまいりますので、本年もよろしく願いいたします。

人生を変えた1冊

思考の整理学(著者 外山滋比古)
朝のニュース番組で大学生の間で長く読み継がれていると紹介されていたのを偶然見て、興味が湧き読んだ本です。今から40年以上前に書かれた古い本ですが、今の時代にも通じる物ごとの見方、考え方など、人生の大切なヒントを与えてくれると思います。ただ、残念な点が一つ。読んだのがつい最近であること。もし若いころに出会っていたら、人生を変えてくれたかも?と思わせてくる一冊です。若い皆さんにぜひお勧めしたい一冊です。



◆年頭挨拶◇

診療局長

荻田 和秀

(兼)産婦人科部長
薬剤管理センター長
周産期センター産科医療センター長
医療安全管理室長
国際診療支援センター長

新年あけましておめでとうございます

職員の皆さまにおかれましては、日々の診療・業務に真摯に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、医療を取り巻く環境は大きく変化し、働き方改革への対応や医療資源の適正配分など、現場にはこれまで以上に柔軟さと工夫が求められる一年でありました。そのような中でも、患者さん一人ひとりに向き合い、チームとして質の高い医療を提供し続けてこられたのは、皆さまの献身的な努力の賜物です。

本年も、安心・安全な医療の提供を最優先に、職種を超えた連携を大切にしながら、働きがいのある職場づくりを進めてまいりたいと考えております。変化の時代だからこそ、対話を重ね、互いを尊重し合う姿勢がより重要になると感じています。

新しい一年が、職員の皆さま一人ひとりにとって実り多き年となりますことを祈念するとともに、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人生を変えた1冊

私の座右の書の一冊が、若い頃に出会ったカリエンティフィレンツの『エベペ』です。言葉の通じない街に迷い込んだ言語学者が、必死に周囲と関わろうとしながら、次第に孤独に追い込まれていく物語です。読んでいて息苦しくなるほどでしたが、人と分かり合うことの難しさや、それでも向き合おうとする姿勢の大切さを教えられた気がしています。それはまさに医療の現場でもあり得る事で、言葉ではない何か大切なものについて考えさせられる作品です。



◆年頭挨拶◇

事務局長

新原 康宏

新年あけましておめでとうございます

昨年4月から事務局長を拝命しました。私自身、りんくう総合医療センターの前身である市立泉佐野病院（旧病院）で生まれ、五十数年ずっと泉佐野市民であるとともに、令和3年の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の際は隣のワシントンホテルさんに集団接種業務で何十回も通い続けていたこともあり、このりんくう総合医療センターについては勝手にとても身近な存在であると感じている私です。話しは変わりますが、昨年は55年ぶりに大阪で「大阪・関西万博」が開催されました。

みなさんは行かれましたか？私は開幕初日に訪れたことをきっかけに、これが見たいという大きな目的はないものの、大屋根リングを歩くだけとかビールを飲むことだけを目的に複数回訪れ、楽しい半年間を過ごせました。次の日本での開催は確実に行くことができないので、5年後のサウジアラビアのリヤド万博に行けたら嬉しいです。今年も皆様と一緒にがんばりますのでよろしくお願いいたします。

人生を変えた1冊

勉強もせず、外で走り回ったり、自転車を乗り回したり、広場で野球したりなので、家でゆっくり落ち着いて読書をするなどまったく無かった私なので、人生を変えるような1冊といえるかどうかですが、それは「ドラえもん」です。テレビなどで有名になる前にこの漫画に出会い、「タイムマシン」や「どこでもドア」に夢を抱きました。中でも私が一番あこがれたのは「暗記パン」で、食べて賢くなれないかなとよく思ったものです。